

4-1 構造化抄録フォーム

番号	4_1_list_1
タイトル	Biological factors contributing to failures of osseointegrated oral implants.(I). Success criteria and epidemiology.
著者名	Esposito M
雑誌 年;巻:頁	Eur J Oral Sci. 1998 Feb;106(1):527-51.
目的	臨床歯科医に対し、科学的根拠に基づいたインプラントの状態を知るための診断基準を提示する。
研究デザイン	<input checked="" type="checkbox"/> meta-analysis <input type="checkbox"/> systematic review <input type="checkbox"/> DB-RCT <input type="checkbox"/> RCT <input type="checkbox"/> CCT <input type="checkbox"/> cohort study <input type="checkbox"/> case control study <input type="checkbox"/> case series <input type="checkbox"/> case report <input type="checkbox"/> others
研究施設	Institute of Anatomy and cell Biology,
対象患者	ブローネマルクおよび ITI システムのインプラント取り扱った73の文献の患者
介入・検査	Radiographic examination Implant mobility test
評価項目	オステオインテグレートインプラントの失敗の原因（生物学的、機械的、医原性、患者気質など）
統計手法	
結果	ブローネマルクインプラントの生物学的原因による失敗は比較的少ない（2812本のうちの7.7%：骨移植症例を除く）。予知性は部分無歯顎で良い（失敗は全部無歯顎症例の約半分）。上顎症例は下顎に比べ三倍失敗がおきやすい。（全部無歯顎症例では上下で変わらないが。）ブローネマルクシステムでは、部分無歯顎症例にインプラント周囲炎による失敗は少なく、一方で、ITIシステムでは多い。その原因として、インプラントの形態と表面性状の違いが挙げられる。
尤度比 Odds 比	
結論	オステオインテグレート インプラントの失敗メカニズムを知るためにはさらなる臨床研究が必要である。
コメント	
記載者	庄司 憲明